

村上市総合計画審議会 会議録

会議名	第5回 村上市総合計画審議会
年月日	令和3年9月17日(金) 14:00~16:10
会場	村上市役所4階 大会議室
出席者	<p>【委員】 飯塚委員、石黒委員、岩佐委員、大矢委員、吉川委員、木村委員、佐々木委員、佐藤(伸)委員、佐藤(八)委員、宍戸委員(会長)、瀬賀委員、高橋(忠)委員、高橋(豊)委員、土谷委員、八藤後委員、脇坂委員、渡邊委員(副会長) ※欠席 加藤委員、川崎委員、斎藤委員、山村委員</p> <p>【事務局】 企画財政課：大滝課長、田中課長補佐、田村副参事、渡辺主査、大倉主査、後藤主任 エヌシーイー：木野勢、杵鞭</p>
議事内容	
[進行] 事務局	<p>1 開会 〈欠席委員の確認〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川仁志委員、宍戸邦久委員が都合により遅れて出席。 ・加藤善典委員、川崎久委員、斎藤誠委員、山村千絵委員の4名が欠席。
副会長	<p>2 会長挨拶 〈あいさつ〉</p>
事務局	<p>3 議事 (1) 第3次村上市総合計画基本構想(素案)について(資料1) (事務局が資料を説明)</p>
副会長	<p>ありがとうございました。 今ほどの事務局からの説明について、ご意見があれば頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>資料1の3ページの4行目から6行目に、「まちづくりは、行政だけが行うものではありません。様々な団体や企業をはじめ、市民ひとり一人がそれぞれ役割を持ち、相互に理解し、協働しながら取り組んでいくことが大切です」と書いてありますが、私としては、市民主体の立場からすれば、まちづくりは市民が主体となって様々な団体や企業の協力を得て、行政とともに取り組んでいくものであると考えています。基本構想及びまちづくりの基本目標の基礎に、「市民主体」の視点をしっかりと見据えていただきたいと思います。副会長をはじめ、審議会委員の皆様のご意見をお伺いしたうえで、この点について再考を要請したいと思います。よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>これについて事務局はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>委員からのご意見に「市民主体」という言葉がありました。私どもが基本構想あるいは基本計画を作る中においては、読み手にわかりやすいものを作りたいと考えております。「市民主体」という言葉につきましても、「市民ひとり一人がそれぞれ役割を持ち」と同様の意味と考えております。</p>

委員	この「行政だけが行うものではありません」という言葉が、上から目線と言いますか、市民に教えを諭すような感じがします。もっと市民を前面に持ち出して、それを支えるような形で行政が動いてくだされば一番よいのではないかと私は信じております。是非再考して、文章をもう少し気持ちに通じるような言葉で表現していただければと思うので、よろしく願いいたします。
副会長	今の件につきまして、他の委員の皆さんはどうでしょうか。
委員	<p>今話を聞いて、私もこの部分は引っかかっています。「行政だけが行うものではありません」は当然のことだと言いますか、そのようなことを私達は知らないと思っているような感じが受け取れます。私も今の意見はそのとおりだと思って、似たような意見を考えてきました。「市民を主体として、行政や様々な団体、企業なども相互に理解し、協働しながら取り組んでいくことを基本とします」というような文面はどうかと思いました。</p> <p>それから一つ質問ですが、先ほど事務局からパブリックコメントの説明があった時に、委員からも意見をもらうということをおっしゃったのですが、それはパブリックコメントの時に私達委員も一般市民として意見を出すという意味ではないのですよね。</p>
事務局	パブリックコメントとは別に、委員の皆様からは、この審議会後に指定様式で意見を頂戴できるようにしております。
副会長	他の委員の皆様はいかがでしょう。「行政だけが行うものではありません」という文章が引っかかっているのならば、例えばその部分を削除したらいかがでしょうか。
委員	やはり、すぐ「様々な団体や企業をはじめ」という言葉が出てきますので、私としては「市民の主体性を持って」とか、その後に企業や団体などを取りまとめる形で行政が出てくるような形が一番良いと考えます。
副会長	他の委員の皆さんいかがですか。
委員	聞き手の方によって感じ方は違うと思うのですが、「行政だけが行うものではありません」のフレーズについては、私も若干違和感があります。ただ、事務局の説明も然りだと思えますし、各委員のご意見もおっしゃるとおりだと思いますので、フレーズについては事務局に一任になるかもしれませんが、もし可能であれば、今の意見を踏まえたうえで修正をお願いできればと思います。
副会長	ありがとうございます。そのような形で再考するという事でよろしいですか。
事務局	確かにそのようにおっしゃるお気持ちはよくわかりました。「行政だけが行うものではありません」は、日頃業務をしていてそのように感じるところがやはりあるということだけのご理解いただきたいと思うところと、ここにこの文章が入ることによって、やはり上から目線だと感じられるということは、やはり修正すべき点だと思いますので、ここは例えばご意見のように「市民が主体となって」というようなフレーズを入れながら、全体的にまとめるような形で調整をしたいと思いますがいかがでしょうか。

委員	ありがとうございます。是非お願いしたいと思います。
副会長	たぶん気持ちのズレはないと思うのですが、言葉にするとそのように感じる方もいらっしゃるということなので、今の説明のとおり、その辺は修正することをお願いいたします。他にはいかがでしょうか。
委員	<p>質問です。基本目標2「豊かで安心なまち」で、⑧と⑨、それから⑩と⑪の記載順序が、前回の審議会の時と入れ替わっていますが、その理由をお聞かせください。</p> <p>前回の審議会で空き家の問題は今後大きな課題だというご意見があったのですが、私もそれにはとても同感しています。まちの景観とか眺望は、住む人の心身に様々な影響を与えるものですから、豊かな心の子どもを育てるという教育の方向性からしたら、笑顔あふれるまちにするためにも、景観保全や空き家対策ということは、地域の重要な課題だと思っています。そのため、記載順序をわざわざ変えたことに疑問があります。この記載順序というものは、なんとなく優先度という感じを受けてしまうので、その辺はどのような考えでこれを変えられたのかお聞きしてみたいと思います。</p>
事務局	この番号につきまして、優先順とは考えておりません。では何故ここを変えたのかということにつきましては、本日の2番目の議事であります基本計画の政策分野の順番に合うような形に修正しております。
副会長	優先順位ではないとのことですが。
委員	理屈と言いますか、変えたことの意味はわかりました。ただ、資料を普通に読んだ時に、やはり上から優先度が高いという感じを受けたので、この空き家のことなどは、長寿命化などにも関係してくるような所かと思ったので、順位が上がったら良いなという思いもあったのです。順序は優先度ではないということがどこかに記載されていればよいかと思います。
事務局	大変ありがとうございました。誰しも上から書いてあれば順番があると思いますが、例えば8ページの図をご覧ください。やはり子育てが一番で手前でなければいけないとか、やはり産業が一番でなければだめだというような考え方もあります。しかし、それぞれの立場にはそれぞれの優先があり、市としては、そのようなことを考えてしまうと全てにおいて順番や順序を付けなければならなくなってしまいます。私達はどちらかと言えばどれも大切なことだと考えておりますし、できればここには順番をあまり設けたくないというのが私達の思いであります。確かに自分はこれが一番だと思うとか、これを優先したいというお気持ちはわかるのですが、私達はそのようにここを捉えてはおりませんので、そこだけのご理解をいただきたいと思います。
委員	それをお聞きしてよくわかりましたけれども、そうしたところで1番とか2番というとなんとか順番を連想しますので、ア、イ、ウとかイ、ロ、ハとかにしたらどうでしょうか。
事務局	イロハにも順番があるような気がしますが、何をおいてもそのように考えられてしまいます。前回はそれを避けるために黒丸にしました。そうすると、ここだと指す時に上から何番目の丸だというように非常に言いにくいと言われてしまい、そこは私達も同じように考えるのですが、ここを丸にした方が

委員	<p>よいのかどうかを考えると、私は何らかの記号を付けた方がよいと思いますが、そうするとどうしても順番が出てしまいます。順番を気にしないでください、これは順番がありませんというような記載をどこかに入れた方がよいということであればそうしますが、一長一短があるということだけご理解いただきたいと思います。</p> <p>前回の審議会で示された基本構想（素案）では、まちづくりの基本目標（５）「多様で開かれたまちづくり」⑤に「効果的でわかりやすい情報発信や情報の開示により、親しみやすく透明性の高い行政運営を進めます」とあります。しかし、今回示された基本構想（素案）の（５）「多様性が広がるまち」④には、「効果的で分かりやすい情報の発信と」ここまではほぼ同じですが、「多様な意見提案ができる機会の創出に取り組みます」と変更されています。</p> <p>私は、市民生活にとって行政による情報発信はもとより、情報の開示や透明性の高い行政運営は、絶対に必要不可欠のものと考えています。私達市民にとって情報開示によって様々な問題を探っていくということは非常に大事なことです。その意味で前回の審議会で示された文案は、行政の市民に対する決意表明であり、非常に重要なことと考えていますが、新しい素案では「情報の発信と、多様な意見提案できる機会の創出に取り組みます」と抽象的な記載となり、これも大事なことなのですが、このように変更されたことが気がかりなので、説明をしっかりとっていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>情報の開示につきましては、以前の審議会においても全てを発信するのめどうかというご意見を頂戴したところでもあり、その辺りを念頭に表現を柔らかくしたところがございます。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。表現としては柔らかくなっているかと思いますが、他の委員の方はいかがですか。</p>
委員	<p>ここは私も気になって、以前審議会後に意見シートを出したところです。今回の文面はその意見を加味していただいた部分もあるのかと思っています。以前他の委員がおっしゃっていたとおり、何でも開示するべきではないと、例えば開示できない部分は確かにあるかもしれないとは思ったのですが、第3回と第4回審議会資料の公開のことについて関連すると思ったので、意見をさせていただきます。</p> <p>第3回審議会の配布資料に別冊1～3があり、第2次総合計画の総括に対する審議会委員からの意見と質疑、第2回審議会後に提出された意見、それから第4回ワークショップでの意見一覧について、私達委員はいただいています。様々な意見が出て、確かにそうだなと気付かなかった意見もたくさん拝見しました。その既存資料がホームページには公表されていないので、その理由をお聞きしたいと思います。それから第4回会議録のワークショップについては、会議録の形とすることはなかなか難しいと思いますが、いただいた資料もありますので、出てきた意見のとりまとめ方についてどのように扱おうとなさっているのかという点も事務局に聞きたいと思いました。</p> <p>そして、今の意見と関連して、私がこの審議会に公募委員として応募した理由は、会議内容が公開されるということでしたので、そのようなことは大事なことだと思ったからです。各種会議録というものをホームページで見ることがありますが、委員の発言が少ない会議録もあります。しかしいざここに来て、自分が会議に臨んでみると、皆さんお仕事で忙しい中でも様々な意見を出されています。私は別の会議のものを見た時に、多くの委員さんがいらっしやるの</p>

	<p>に発言回数が少ないなど、賛成しているのか反対しているのかわからないなど、記録だけ見るとわからないのです。ですから、様々な意見が出されているのであれば、このような意見が出ているということを公表するという事は、関心を持って見る方には必要なのではないかと思います。第3回と第4回審議会の時の会議資料の別冊のようなものも公表していただけたらと思います。事務局としてもあれだけご苦勞されて意見をまとめて一覧にされていて、それを公表すればよいことかと思しますので、そのようにしていただけたらと考えております。これは傍聴に来られない市民の方々にとっては、委員の意見がどのように反映されているのかを知る機会としてとても重要なことだと思います。会議の記録という公的な資料の意義からも、後世に検証していただく意味でも大切な資料だと思いますので、ホームページの既存箇所に資料とか出ていますが、そこに付け加えて、別冊資料の内容や意見シートの一覧も公表していただきたいと思ひます。この審議会委員の皆さんは、既に公開を承知でここにお見えになっているので、反論はないのではないかと思っています。</p>
副会長	<p>今の部分について事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>確かに資料の公表については完全ではなかったかもしれませんが、追って追加して公開できるようにしたいと思っております。ただ、資料作りで皆さんのご意見をまとめるのに多くの時間がかかっております。ホームページに出すのもそのまま出せばよいわけではなく、その事務が追い付いていないということが正直なところあります。そこはお詫びするしかありません。追って、照らし合わせて不足の部分は公表したいと思ひますがいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>よろしいでしょうか。 先ほどの基本構想（素案）の（5）「多様性が広がるまち」④の記載について、私は大変柔らかい表現でわかりやすくよいのではないかと感じるのですが、他の委員の方はいかがですか。</p>
委員	<p>よいと思ひます。</p>
副会長	<p>以前は少し硬い表現になっていたもので、わかりやすい表現になっているかと思ひますが。</p>
委員	<p>先ほども申しましたが、私にとっては柔らかい表現とかそういうことよりも、やはり情報の開示や透明性の高い行政運営というものは基本中の基本だと思うので、わかりやすいからよいというわけではなく、わかりやすくしたものがこれに匹敵するだけのわかりやすさがあればよいのですが、「多様な意見提案ができる機会の創出に取り組みます」ということが「情報の開示や透明性の高い行政運営」という言葉には繋がらないと思ひます。 これは情報開示の方向性や透明性を否定しているようにすら感じるのですが、例えばこの2つを統合して「効果的で分かりやすい情報発信や情報の開示により、透明性の高い行政運営を図るとともに、多様な意見提案ができる機会の創出に取り組みます」というのであれば納得しますが、下段の「多様な意見提案ができる機会の創出」と情報の開示と透明性は全然結びつかないものだし、「多様な意見提案ができる機会の創出に取り組みます」と「情報の開示や透明性の高い行政運営を行います」とを合わせれば、一つの正しい表現になると思うのですが、ただそうするとかなり長い文になるので、その辺を上手く参酌してもう一度練り直していただきたいと思ひます。わかりやすければよいと</p>

	<p>いうものではないですし、わかりにくいのは困りますけれど、情報の開示や透明性というものはわかりにくいとかやすいという問題外の話ですから、是非事務局には2つを上手く組み合わせて、文章的には少し長くなるかもしれませんが、私としてはここは大事な問題だと思うので頑張ってください。</p>
委員	<p>今の意見はわかるのですが、文章そのものに対してはそれぞれの人の考え方や解釈の仕方があると思います。ですから、事務局の方で様々な形のものを検討した結果このような文章になったと思うので、これは皆さんがよいとなればこれでよいと思います。我々は一人一人の意見を述べる立場ではありますが、ある程度のことは納得してもらわなければ先にも進まないの、私はこの文章でよいと思います。皆さんはいかがですか。</p>
委員	<p>先ほどの「行政が行うものではありません」といった文章も確かにそうなのですが、世の中には行政が行うものと思っている人もいます。人それぞれなのです。委員が言っていることも本当は大事なことなのですが、それを突き詰めていって納得するまでやっていたら、委員個人の総合計画になってしまうのです。様々な考え方があるので、どこまで妥協してよしとするのかということ。100%まで求めていたら会議は終わらないし、言葉尻でやっていたらきりがないので、ある程度総意のもとで、様々な意見の中でやっていったらよいかと思います。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。今日も限られた時間であります。今の件につきましてもそれぞれの意見があると思いますので、また意見シートに書いていただいて、それを基に事務局の方でまとめていただきたいと思いますので、よろしいでしょうか。</p> <p>私の進行が上手くなく申し訳ないのですが、この後は基本計画（素案）についてグループワークをしたいと思いますので、最後になりますが基本構想について何かご意見があればお受けしたいと思いますがいかがですか。</p>
委員	<p>提案です。これを採用するかどうかは別問題として、事務局の方で考えていただきたいと思います。全体の中でやはり最近の文章、今風の文章なので横文字やカタカナ文字が大変多いです。これは市民全員に向けての文章ですので、お年寄りまで見ることになりますから、横文字やカタカナ文字については、最後のページに一覧か何かでわかるような形で示していただければ、ある程度理解できるかと思います。それが市民のためのまちづくりであり、市民のための基本構想の文章であると思いましたので、是非お考えいただければと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。委員がおっしゃるとおり、計画の最後の方に用語集のようなものを設ける予定としております。</p>
副会長	<p>もし他にご意見があるようでしたら、意見シートの方に書いていただいて提出していただければと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、(1)基本構想（素案）については終了させていただきます。</p> <p>続いて、(2)第3次村上市総合計画基本計画（素案）について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>(2) 第3次村上市総合計画基本計画(素案)について(資料2) (事務局がグループワークの進め方を説明)</p>
事務局	<p>【Cグループ発表】 C班では、担い手、人材確保というところが共通した課題ということでご意見をいただきました。 農業につきましては、野菜にも力を入れていくことや、ほ場整備によって効率化を図っていくといった意見をいただきました。 林業につきましては、やはり市産材が売れなければということで、木材の販売に力を入れていくべきというご意見がありましたし、木育という観点で、市産材の価値を知ってもらおうということも大事であるというご意見をいただきました。 水産につきましては、やはり魚介類の単価が低いというところで、加工品についてもPRを進めていって欲しいというご意見いただきました。 観光につきましては、村上市には観光の武器が非常に多い一方で、埋没しているところもあるので、ブラッシュアップして、アフターコロナを見据えた今後の戦略や展開が必要だという意見がありました。また、スケートパークの活用についても、メダリストを呼ぶなど、今後様々な誘客が考えられるのではないかなというご意見をいただいたところです。 港につきましては、釣りでの利用というところもあるのですが、やはりマナーの問題からルール化をどのようにするかという非常に大きな課題もあるというところで、今後慎重に検討していって欲しいというご意見でございます。 就業・雇用につきましては、奨学金の返還制度について知らない人も多いので、もう少し周知を図っていくべきだろうという意見や、女性の職場復帰にあたっては、やはり保育園の入園について、体制を整えていただきたいというような意見が出ました。</p>
委員	<p>【Dグループ発表】 各項目について貴重なご意見を多くいただきましたが、主に3点ご報告させていただきます。 まず「4-3文化芸術」に関して、市内にある貴重な歴史的資料の散逸といった課題があるといったことで、散逸を防ぐ取組が大事なのではないかなというご意見がありました。 2番目として「4-4スポーツ」に関して、現状の⑤あるいは課題の⑦で、環境整備・充実に関して現状と課題が挙げられているのですが、それに対して施策として挙げられているのが主に3の①で「整備に努めます」というくらいで、少しさらっとしているなので、もう少し肉付けした方がよいのではないかなというご意見がありました。 3番目に「5-2地域づくり」の中の移住・定住に関してですが、ここには移住と定住促進という記載はあるのですが、移住定住を増やしていく前の段階の取組として、関係人口という視点をこの計画の中にしっかりと入れるべきではないかなというご意見がございました。</p>
会長	<p>【Aグループ発表】 Aグループの報告でございますが、主に4点ございます。 まず「1-1子育て」について、子育て政策についてはいろいろ記載していただいたところではありますが、記載が足りない点として、組織間での連携が十分に取れていないという現状を報告いただきました。例えば、一つの例として発達支援を取ってみても、保護者と学校と保育園の間で、それぞれの主体がま</p>

	<p>さに縦割りで動いているがために連携が取れていない。そのために、例えば園から小学校に上がる場合、あるいは小学校に入った後に、どのようなサービスを受けさせたらよいのかというところで上手く連携が取れていない。それに対する対応策としては、例えば発達支援の例でしたら専門医を置く、あるいは小学校の先生も含めて知識を得るべく勉強会を行うといった連携づくりをされたいということが、「1 - 1 子育て」に対する追加注文であります。</p> <p>「1 - 2 健康・医療」については、感染症関連の記載が主な取組の部分にあるものの、やはり今般の新型コロナ感染症の反省を踏まえ、反省と言っても村上市として悪いことだけではなく良いことも行っていますから、そういった良いことと悪いことの反省を踏まえて、今後新たな感染症に対して、市として市の権限でできることを裏打ちした枠組みを作るべしというご意見を頂戴いたしました。市としてできることに関しては、理解促進に取り組むことや事業支援を行うことに加えて、もっと主体性を持って市民の命を守るということも重要かと考えております。</p> <p>「1 - 3 高齢者福祉」については、例えばグループホーム一つ取っても、「計画的な施設整備を進めます」とありますが、加えてその施設に携わる人材育成が必要であるという追加注文をいただきました。</p> <p>「1 - 4 障がい者福祉」については、サービスを結び付けるシステムを構築されたい。来年4月に基幹相談支援センターがオープン予定とのことですが、そのことも踏まえながら、村上市におけるシステムづくりとして、障害がある人に気づき、そして教育や福祉といったサービスに結びつけるシステム、需要と供給を結び付けるシステム、そのためにも道筋を付ける人が必要であり、それを含めたシステムを構築されたいという追加注文であります。</p> <p>【B グループ発表】</p> <p>4点報告させていただきます。</p> <p>まず一点目に「2 - 4 環境・エネルギー」について、ゼロカーボンや洋上風力、省エネルギーなど、これから大きな動きがあると思われる様々な項目が記載されていますが、これらの情報発信について、具体的な発表や関係団体との協議、スケジュールなど、そういったものを開示して、皆で考えていけるような環境づくりが必要ではないかという意見がありました。</p> <p>次に「2 - 9 公共交通」について、そもそも普段バスを利用するかという話から、バス停まで行くのが大変だというお話しもいただきました。となればドア to ドアや乗り合いタクシーなどを上手く活用できるような仕組みづくりが必要ではないかということと、記載については、事業者目線の書きぶりが多く見られるので、利用者目線、例えば年配の方の目線などを取り入れた書きぶりが必要ではないかというご意見がありました。</p> <p>続きまして「2 - 10 市街地・景観」については、主要施策2の村上駅周辺まちづくりをどうするのかといったところで、跡地利用に是非期待したいというご意見がありました。</p> <p>最後に「2 - 11 住環境」について、主要施策4「空き家対策」の主な取組として①に空き家の所有者への助言や指導という項目がありますが、なかなか目に見えて現状が改善されていないという話をいただきました。今後は所有者の状況として、相続や放棄の手続きなどをもっとしっかりすれば、何らかの改善につながっていくのではないかというようなお話しをいただきました。</p>
事務局	
事務局	<p>各グループの発表者の皆さん、大変わかりやすくまとめていただいております。ありがとうございました。もちろん発表の中に含まれない各グループでの様々な意見もごさいます。それらの意見も踏まえまして、さらに基本計画の作り込みを進</p>

委員	<p>めたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上でグループワークを終了いたします。大変ありがとうございました。</p> <p>「2 - 4 環境・エネルギー」について、1点修正してもらいたいのですが、「省エネルギー活動の推進」のアイドリングストップについては、環境に悪いということが証明されてきているので、記載しない方がよいです。バッテリーが寿命の半分になるので、バッテリーの交換費用が増します。バッテリーを作るのに使用するエネルギーも廃棄エネルギーも莫大なので、アイドリングストップをしているエネルギーロスより作る浪費エネルギーと捨てる浪費エネルギーと、消費者も頻繁にバッテリーを交換します。一番バッテリーを使うのがエンジンの始動なのです。どんどん電池が無くなって、スマホの電池が無くなっていくのと同じです。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。基本計画に対しての意見シートを皆様に配布しておりますので、グループ外の政策についてご意見等ございましたら意見シートに記入いただきまして、後日提出していただければと思います。それではグループワークの方を終了させていただきます。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 次回の開催日</p> <p>(事務局が説明)</p>
委員	<p>基本計画（素案）に対する意見シートについて、「割り当てさせていただきました政策分野以外」と書いてあるのですが、慌ただしく話していたので、自分が担当していた分野のことも加えてもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>会議資料が全て元号で統一されているのですが、せめて最初の資料1とか2の令和3年の後ろで結構ですから、西暦を入れていただきたいと思います。そうしないとなかなか時代の流れを把握するのが少し難しいので、差支えがなければ最初のページの上の欄のところだけで結構ですので、西暦で2021年とか併記していただければありがたいのですがいかがでしょうか。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>わかりました。</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>